

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 15章 4-6節 (新約聖書138頁)

あなたがたの中に、百匹の羊を持っている人がいて、その一匹を見失ったとすれば、九十九匹を野原に残して、見失った一匹を見つけ出すまで捜し回らないだろうか。そして、見つけたら、喜んでその羊を担いで、家に帰り、友達や近所の人々を呼び集めて、『見失った羊を見つけたので、一緒に喜んでください』と言うであろう。

喜びの群れ

羊とヤギの違いがわかりますか？ どうしてヤギは「山羊」と書くのでしょうか？ 羊は英語で **Sheep** ですが、複数も **Sheep** なのはなぜでしょうか？ イエスの百匹の羊の話に黙想したら、次々とそんな疑問がわいてきました。

さて聖書では主である神は「羊飼ひ」、信じ従う民は「羊」にたとえられています。詩編23編に「主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。主はわたしを青草の原に休ませ 憩いの水のほとりに伴い 魂を生き返らせてくださる。」と歌われている通りです。

羊は群れで行動します。先導者についていく習性があります。群れから引き離されるとパニックになります。羊飼ひがいなければ最初に動いた羊につられて動き、一匹になってしまうとゾウやサイについて群れをつくろうとさえするそうです。

イエスは「わたしは良い羊飼ひである」「わたしは羊のために命を捨てる」と言っています。イエスは命がけで一匹の羊をさがし見つけます。そして九十九匹の羊を喜びの輪に招いています。彼らもその喜びの時を待っていたのではないのでしょうか。

(しばらく黙想しましょう)

わたしたちの良き羊飼である主よ、あなたのみ言葉によって導かれ、互いに愛し祈り、励まし、喜び合えることに感謝します。どうかわたしたちの魂に必要な糧を与え、心の渇きを癒やし、憩いの時を与えてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン